

整形外科学

教授 吉田宗人

准教授 谷口泰徳

講師 山田宏 橋爪洋 南出晃人 中川幸洋

助教 南晋司 河合将紀 岩崎博 坂田亮介 筒井俊二 宮崎展行

研究概要

当教室では脊椎・脊髄に関する基礎的・臨床的研究を中心に行っている。基礎研究は臨床との関連性を重視しており、これまでに電気生理学的脊髄モニタリング法の臨床応用、動物モデルを用いた腰部神経根性疼痛メカニズムの解明、細胞組織工学による椎間板再生、骨形成タンパクと人工骨の脊椎固定術への応用、パッチクランプ法による疼痛伝達路の解明及び脊髄前角細胞の電気生理学的作用の解明、脊柱靭帯骨化症に対する分子生物学的アプローチなどを行ってきた。長寿社会が達成された現在、人々は生活の質の改善を求めており、運動器疾患の治療と撲滅は最重要課題とされている。われわれはこの社会的要求に応えるべく、臨床面で現在、低侵襲手術の研究・開発にも力を注いでいる。また、形成外科・手の外科分野においても微小血管外科やキーンバック病に関する報告を数多く行っている。

以下にその詳細を列挙する。

1 脊椎外科に関連する基礎的並びに臨床的研究

- 脊椎内視鏡手術の技術開発と臨床応用に関する研究
- 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの応用に関する研究
- 脊柱靭帯骨化症関連遺伝子の解析
- 腰部脊柱管狭窄症の自然経過に関する疫学調査研究
- 腰椎椎間孔障害の補助診断法としての電気生理学的研究
- 脱出椎間板組織の吸収過程と神経因性疼痛の制御に関する研究
- 変性椎間板による神経因性疼痛発現機序とその制御に関する研究
- パッチクランプ法を用いた脊髄内痛覚伝導路に関する研究
- パッチクランプ法を用いた脊髄前角細胞に対する虚血負荷に対する検討
- パッチクランプ法を用いた運動ニューロンの電気生理学的作用の研究
- 焼成骨 (true bone ceramic, TBC) の脊椎固定材料としての有用性に関する研究
- 術中脊髄機能モニタリングに関する基礎的・臨床的研究

2 骨髄幹細胞による骨・靭帯・関節組織の再生に関する研究

- 培養椎間板細胞を用いた椎間板再生に関する研究
- 骨髄幹細胞を用いた脊椎固定術に関する研究
- 骨髄幹細胞を用いた靭帯再建術に関する研究

3 骨形成タンパク (OP-1) の臨床応用に関する研究

- 骨形成タンパクによる変性椎間板の再生と神経因性疼痛抑制に関する研究
- 骨形成タンパクによる脊椎固定術に関する研究

4 その他

- キーンバック病に関する臨床的研究
- マイクロサージェリーを用いた機能再建術に関する臨床的研究
- 小児上腕骨顆上骨折の装具療法の研究

著書

a) 学術

1. 久保俊一，山下敏彦，水田博志，田口敏彦，遠藤直人，齋藤知行，吉田宗人，小宮節郎，金谷文則，大塚隆信（編著・執筆順）：「図解 整形外科 改訂 2 版」株式会社金芳堂，京都 2010
2. 谷口泰徳：発表の聞き方、しかた。「整形外科研修ノート」齋藤知行、大塚隆信、久保俊一編集，診断と治療社，東京，pp.26-28,2010
3. 谷口泰徳：整形外科医にとって研究とは何か。「整形外科研修ノート」齋藤知行、大塚隆信、久保俊一編集，診断と治療社，東京，pp.29-30,2010
4. 谷口泰徳：血液・尿/関節液・髄液。「整形外科研修ノート」齋藤知行、大塚隆信、久保俊一編集，診断と治療社，東京，pp.74-76,2010
5. 山田宏：Far-out 症候群。「整形外科 臨床パサージュ腰痛クリニカルプラクティス」総編集 中村耕三 専門編集 山下敏彦，中山書店，東京，pp.192-199，2010
6. 山田宏：腰椎の画像診断の進め方。「整形外科 臨床パサージュ 3 運動器画像診断マスターガイド」総編集 中村耕三 専門編集 吉川秀樹，中山書店，東京，pp.109-125，2010
7. 山田宏：整形外科に必要な社会的知識と制度。4. 医療保険制度・公費負担制度。5. 医薬品副作用被害救済制度，6. 障害者認定，7. 感染症届出基準「整形外科研修医ノート」齋藤知行、大塚隆信、久保俊一編，診断と治療社，東京，pp.604-613,2010
8. 橋爪洋、吉田宗人：第 1 章 整形外科研修でのアドバイス C. 勉強のしかた 9. 大学院および医学博士について pp31-32、10. 留学のすすめ pp33-34、11. 家庭との両立-子どもを育てながら働くための工夫 pp35-36、第 3 章 研修で学ぶべき手術治療 B. 周術期管理 2. 術後管理 pp145-147、第 4 章 主要な疾患・外傷 A 運動器疾患 2. 四肢循環障害と阻血壊死性疾患1)四肢に循環障害をきたす疾患 pp252-254、3 感染症 3)化膿性脊椎炎 pp267-269、第 6 章 付録 F おもな薬剤 4. 抗菌薬 pp686-687。「整形外科研修ノート」齋藤知行、大塚隆信、久保俊一編、診断と治療社、東京
9. 南出晃人：脊椎疾患 胸椎・腰椎疾患。「整形外科研修ノート」齋藤知行、大塚隆信、久保俊一編，診断と治療社，東京，pp327-338,2010
10. 中川幸洋：腰椎変形性脊椎症（脊柱管狭窄を含む）。「今日の治療指針 私はこう治療している」山口徹、北原光夫、井次矢編，医学書院，東京 pp849-850，2010
11. 中川幸洋：術後創処置。「整形外科研修ノート」齋藤知行、大塚隆信、久保俊一編，診断と治療社，東京 pp148-151，2010
12. 中川幸洋：略語一覧。「整形外科研修ノート」齋藤知行、大塚隆信、久保俊一編，診断と治療社，東京，pp670-705，2010
13. 河合将紀：腰椎椎間板ヘルニア（坐骨神経痛を含む）「今日の治療指針」山口徹ほか総編集 医学書院，東京，pp.909,2010
14. 河合将紀、吉田宗人：内視鏡手術の最近の動向。「整形外科 臨床パサージュ 1 腰痛クリニカルプラクティス」中村耕三総編集，中山書店，東京，pp.131-135,2010
15. 山崎悟：第 3 章 女性特有のあるいは女性に多い疾患・症候についての基礎知識 30. 変形性膝関節症と関節リウマチ。「女性総合診療マニュアル 女性外来の実践から」独立行政法人労働者健康福祉機構編，保健文化社，東京，P255-259，2010
16. 宮崎展行：-薬物療法 1) 医師の立場から-薬効からみた処方のポイント。「運動器の痛み プライマリケア 頸部・肩の痛み」菊池臣一編，南江堂，東京 pp16-17，2010

総説

1. 吉田宗人：体への負担が小さく、手術後〜5日で退院できると注目を集める、頰椎症の内視鏡手術。2夢4月号： pp114-115, 2010
2. 山田宏, 吉田宗人：椎間板ヘルニアと脊髄管狭窄の画像診断の基本とピットフォール。脊椎・脊髄イメージング標準的検査法から最新情報まで。脊椎脊髄ジャーナル(4)：365-372, 2010
3. 山田宏：資材の活用。模型、手術のイラストなどの活用。CLINICIAN'10 NO.585：330-336, 2010
4. 橋爪洋, 吉田宗人：口コモティブシンドロームの要因としての運動器疾患の診断と治療—腰部脊髄管狭窄)。Modern Physician 30(4): 525-529, 2010.
5. 南出晃人, 吉田宗人：腰部脊髄管狭窄症。低侵襲手術。MB Orthopaedics 23(10)：57-63, 2010.
6. 南出晃人：卒後研修講座。脊椎後方内視鏡手術の実際とピットフォール。整形外科 61(1)：75-82, 2010.
7. 南出晃人, 吉田宗人：MEDによる腰部脊髄管狭窄症の除圧縦断に椎間孔狭窄について。JMIOS 57：29-34, 2010.
8. 中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏：腰椎椎間孔狭窄に対する内視鏡手術。脊椎脊髄ジャーナル 23(5):539-546, 2010
9. 麻殖生和博, 吉田宗人：腰椎椎間板ヘルニア。MB Orthopaedics 23(5)：81-86, 2010
10. 岩崎博, 吉田宗人, 安藤宗治, 山田宏：【腰椎椎間孔狭窄】腰椎椎間孔部狭窄の電気診断。脊椎脊髄ジャーナル 23(5)：521-526, 2010
11. 岩崎博, 吉田宗人：【腰部脊髄管狭窄症での低侵襲手術】腰部脊髄管狭窄症の術前診断 - 必要最小限の除圧で済ますため - JMIOS. No.57：2-9, 2010

原著

1. 吉田宗人：運動器疾患に対する内視鏡下手術の update。脊椎内視鏡手術の現状。日本内視鏡外科学会雑誌 15(7):pp262, 2010
2. 吉田宗人：内視鏡を用いた脊椎、脊髄低侵襲手術の適応拡大と手術成績年2500例の経験から。日本内視鏡外科学会雑誌 15(7): pp225, 2010
3. Matsumoto M, Hasegawa T, Ito M, Aizawa T, Konno S, Yamagata M, Ebara S, Hachiya Y, Nakamura H, Yagi S, Sato K, Dezawa A, Yoshida M, Shinomiya K, Yoyama Y, Shimizu K: Incidence of complications associated with spinal endoscopic surgery: nationwide survey in 2007 by the Committee on Spinal Endoscopic Surgical Skill Qualification of Japanese Orthopaedic Association. J Orthop Sci.15:92-96. 2010
4. Muraki S, Akune T, Oka H, En-Yo Y, Yoshida M, Saika A, Suzuki T, Yoshida H, Ishibashi H, Tokimura F, Yamamoto S, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N: Impact of knee and low back pain on health-related quality of life in Japanese women: the Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD). Mod Rheumatol. 2010 Oct;20(5):444-51. 2010
5. Imanishi K, Nakao M, Kioka M, Mori M, Yoshida M, Takahashi T, Minato K: Interactive bone drilling using a 2D pointing device to support Microendoscopic Discectomy planning. Int J Comput Assist Radiol Surg. 2010 Sep;5(5):461-9. 2010
6. 谷口泰徳、北野岳史、下江隆司、橋本忠晃、浅井宣樹：変形性遠位橈尺関節症に合併した伸筋腱皮下断裂の特徴的所見。日手会誌 27：215-218, 2010.
7. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博：馬尾腫瘍摘出術におけるMsEPを用いた術中神経機能モニタリング。整形災害外科 53：1271-1282, 2010
8. 松山幸弘, 四宮謙一, 安藤宗治, 川端茂徳, 小島宗紀, 滝徳宗, 谷口慎一郎, 山本直也, 伊藤全

哉，齋藤貴徳，里見和彦，谷俊一：術中脊髄モニタリングの実態、特に麻痺例を中心に 脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設調査．脊髄機能診断学：70-76，2010

9. 山田宏：腰部脊柱管狭窄症における脊柱管外病変の診断 臨床整形外科医会会報：122-124，2010

10.

山田宏，吉田宗人，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，延與良夫，遠藤徹；第5腰神経のダブルクラッシュ症候群．臨整外 45(4)：311-316，2010

11.

山田宏，吉田宗人，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，筒井俊二，延與良夫，遠藤徹，野村和教，中尾慎一 第5腰神経のダブルクラッシュ症候群．日脊椎脊髄病会誌21(3)：S479，2010

12.

山田宏，吉田宗人，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，筒井俊二，岡田基宏，木岡雅彦，石元優々，長田圭司 瀧口登：脊柱管外狭窄病変は無症候性が多いというのは事実か 日脊椎脊髄病会誌 21(3)：S449,2010

13.

山田宏，吉田宗人，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，筒井俊二，木岡雅彦，岡田基宏，石元優々，長田圭司 瀧口登：L5-S1 腰椎椎間孔部狭窄症の手術術式の再考．日脊椎脊髄病会誌(3)：S656,2010

14.

山田宏，吉田宗人，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，筒井俊二，岡田基宏，木岡雅彦 腰椎椎間孔部狭窄症の神経圧迫様式からみた手術術式の再考 日整会誌 84(3):S37,2010

15.

山田宏，吉田宗人，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，筒井俊二，岡田基宏，木岡雅彦 石元優々，長田圭司 瀧口登，遠藤徹，中村靖司：腰仙椎移行部の椎間孔外狭窄における腰仙靭帯の関与について - 解剖学および病理組織学的検討 - ．日整会誌 84(8)：S1294,2010

16.

松本卓二，西山大介，寺口真年，濱崎広洋：大腿骨近位部骨折におけるエノキサパリンおよびフォンダパリヌクスの術期 d-dimer 値の検討．中部日本整形外科災害外科学会雑誌巻秋季学会：191,2010

17.

Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Nakagawa Y, Maio K, Kawai M, Iwasaki H : Clinical outcomes of microendoscopic decompression surgery for cervical myelopathy. Eur Spine J. 2010; 19(3) : 487-93 , 2010

18.

南出晃人，吉田宗人，山田宏，中川幸洋，河合将紀，橋爪洋：頸部脊髄症患者に対する内視鏡下頸椎後方除圧術の臨床成績．中部整災誌 53: 155, 2010.

19.

南出晃人，吉田宗人，山田宏，橋爪洋，中川幸洋，河合将紀，岡田基宏，木岡雅彦，石元優々，長田圭司，瀧口登：腰椎変性すべり症に対する手術方法別による臨床成績の比較 内視鏡下除圧術と固定術．日整会誌 84(3): S81, 2010.

20.

南出晃人，吉田宗人，山田宏，橋爪洋，中川幸洋，西秀人，河合将紀，岩崎博，筒井俊二，岡田基宏，木岡雅彦，石元優々，長田圭司，瀧口登：腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術と固定術の臨床成績の比較 J Spine Res 1(3) : 568 , 2010.

21.

南出晃人，吉田宗人，山田宏，橋爪洋，中川幸洋，西秀人，河合将紀，岩崎博，筒井俊二，岡田基宏，木岡雅彦，石元優々，長田圭司，瀧口登：高齢者脊椎疾患に対する手術戦略 頸椎症性脊髄症 高齢者の頸椎症

性脊髄症に対する内視鏡下後方除圧術の有用性の検討 Spine Res 1(3): 242, 2010.

22.

南出晃人 , 吉田宗人 , 川上守 , 橋爪洋 , 岡田基宏 , 延與良夫 , Boden Scott D.: 培養未分化間葉系幹細胞の脊椎固定術における BMP-2 と basic FGF の及ぼす影響 J Spine Res 1(2): 194, 2010.

23.

中川幸洋, 安藤宗治, 玉置哲也, 山田宏, 岩崎博, 遠藤徹, 筒井俊二, 吉田宗人: 術中脊髄機能モニタリングと今後の課題 臨床脳波 52 : 31-36, 2010

24.

中川幸洋, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 河合将紀: 高齢者腰部脊柱管狭窄症 後方内視鏡下除圧術の成績とその病態について . Journal of Spine Research 1 (8) : 1430-1433, 2010

25.

中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登: 高齢者の腰部脊柱管狭窄症に対する後方内視鏡手術 Journal of Spine Research Vol11 No4 : 801, 2010

26.

中川幸洋、吉田宗人、南出晃人、河合将紀、麻殖生和博、山田宏、橋爪洋、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、木岡雅彦: 頸椎内視鏡手術の将来展望と限界 . 日整会誌(3) : S148, 2010

27.

中川幸洋、安藤宗治、玉置哲也、山田宏、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、橋爪洋、南出晃人、河合将紀、吉田宗人: 術中脊髄機能モニタリングの現状と課題 . 日整会誌(4) : S292, 2010

28.

岩崎博 , 吉田宗人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 南出晃人 , 中川幸洋: 腰椎椎間孔外狭窄における各種診断法の感度整形 外科 61(9): 1021-1025, 2010

29.

野村和教 , 吉田宗人 , 河合将紀 , 中尾慎一: 腰椎内視鏡手術の医療経済効果 . Journal of Spine Research 1(3) : 502 , 2010

30.

野村和教 , 吉田宗人 , 河合将紀 , 麻殖生和博 , 中尾慎一: サルベージ手術としてのMED—腰椎椎間板ヘルニア再手術症例の検討から— Journal of Spine Research 1(4) : 950 , 2010

31.

小西麻耶、中根康博、成川臨、山本義男、中川雅文、左近奈菜、延与良夫、松本卓二、川上守: 変形性膝関節症に対する装療法とホームエクササイズによる運動療法の効果 . 関西臨床スポーツ医・科学研究会誌10

32.

高見正成、山田宏、吉田宗人: 高エネルギー外傷における全脊柱CTの有用性 Journal of Spine Research 1(3) : 369 , 2010

33.

高見正成、山田宏、吉田宗人: 胸腰椎破裂骨折に対する expand を用いた temporary fixation without fusion 法による治療 経験 . Journal of Spine Research 1(3):593,2010

34.

高見正成、納田和博、阪中淳也、山田宏、吉田宗人: 高エネルギー外傷における全脊柱CTの有用性 . 中部日本整形外科学会雑誌 53(4):967-968,2010

35.

- 高見正成、山田宏、吉田宗人：高エネルギー外傷における全脊柱CTの有用性．日本整形外科学会雑誌4(3)：S88，2010
36. 宮崎展行，南晋司，坂田亮介，綿貫匡則，谷口亘，中谷匡登，三宅悠介，吉田宗人：ハイブリッド人工股関節全置換術におけるトラネキサム酸の止血効果．日本人工関節学会誌 84-85，2010
37. 宮崎展行，南晋司，綿貫匡則，峰巨，中谷匡登，吉田宗人HAにおける外旋筋温存後方アプローチの経験 Hip Joint 36：p194-197，2010
38. 宮崎展行，南晋司，綿貫匡則，峰巨，中谷匡登，平一裕：MIPOを用いた小児大腿骨骨折の治療経験．骨折2(2)：393-395，2010
39. 宮崎展行，南晋司，綿貫匡則，中谷匡登，吉田宗人反復性膝蓋骨脱臼にsuture anchorを用いたMPFL再建術の経験．中部日本整形外科災害外科学会雑誌53(3)：529-530，2010
40. 大宝英矢，山口耕史，舟津稔博，谷口隆哉，宮崎展行，綿貫匡則，吉田宗人ROM-A TOTAL HIP SYSTEMを用いた初回THA術後脱臼の検討．Hip Joint 36：p327-330，2010
41. 綿貫匡則，宮崎展行，南晋司，坂田亮介，谷口亘，中谷匡登，三宅悠介，綿貫昭則，吉田宗人施行した大腿骨頭および股関節臼蓋の脆弱性骨折の一例．日本人工関節学会誌56-657，2010
42. 北野岳史，谷口泰徳，南晋司，岩田勝栄，下江隆司，吉田宗人：悪性腫瘍切除後の広範囲皮膚欠損に対する皮弁による再建．中部日本整形外科災害外科学会雑誌3(3)：673-674,2010
43. 谷口亘，築瀬能三，宮崎展行，南晋司，坂田亮介，綿貫匡則，中谷匡登，三宅悠介，吉田宗人：プレート破損に至った術後大腿骨骨幹部骨折の例．日本人工関節学会誌：734-735，2010
44. 中谷匡登，宮崎展行，三宅悠介，谷口亘，綿貫匡則，坂田亮介，南晋司，吉田宗人骨髄神経ブロック併用持続大腿神経ブロックと持続硬膜外ブロックによるKA術後疼痛の比較検討日本人工関節学会誌40：616-617，2010
45. 石元優々，山田宏，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，吉田宗人：骨粗鬆症性脊椎椎体骨折後に生じた遅発性神経根症．臨床整形外科 45(7)：pp.619-623，2010
46. 西山大介，松崎交作，船岡信彦，納田和博，延與良夫，北野岳史：高度肥満患者に対するrevision人工股関節全置換術 整形外科 61(2):119-122,2010
47. 西山大介，浜崎広洋，松本卓二，下江隆司，寺口真年，栗本公博：膝蓋アプローチを用いた脛骨髄内釘の治療経験．和歌山医学 61(3):79-81,2010
48. 西山大介，浜崎広洋，栗本公博，松本卓二，下江隆司，寺口真年：伸展位上膝蓋アプローチを用いた脛骨髄内釘の治療経験 中部日本整形外科災害外科学会雑誌3巻秋季学会：123,2010
- 49.

- 下江隆司 , 谷口泰徳 , 北野岳史 , 浅井宣樹 , 吉田宗人 : 膠原病に合併したKienböck 病 . 日本手外科学会誌
26(3): 172-174,2010
50.
下江隆司 , 谷口泰徳 , 岩田勝栄 , 北野岳史 , 浅井宣樹 , 吉田宗人 : 遊離複合肩甲皮弁移植を行った前腕部高度
損傷の 1 例 . 中部整災誌 53: 281-282, 2010
51.
下江隆司 , 谷口泰徳 , 岩田勝栄 , 北野岳史 , 浅井宣樹 , 吉田宗人 : キーンバック病に合併した長母指屈筋腱皮
下断裂の 1 例. 中部整災誌 53: 1145-1146, 2010
52.
下江隆司 , 谷口泰徳 , 岩田勝栄 , 北野岳史 , 吉田宗人 : Bado 分類不能の Monteggia 骨折の 1 例 . 日肘関
節会誌 , 2010; 17(2): 123-125 , 2010
53.
南貴雄 , 宮崎展行 , 納田和博 , 吉田宗人 : 仙腸関節脱臼に対して M-shaped Trasiliac Plate を用いて仙腸関節固定を行った
1 例 . 骨折 32(3) : 538-540 , 2010
54.
三宅悠介 , 築瀬能三 , 宮崎展行 , 南晋司 , 綿貫匡則 , 吉田宗人 : 人工膝関節置換術後に膝蓋大腿関節に瘢痕組織の形成を来
した 2 例 . 日本人工関節学会誌 : 764-765 , 2010
55.
浅井宣樹 , 谷口泰徳 , 北野岳史 , 下江隆司 : バネ指手術に合併した医原性末梢神経損傷 . [日本手外科会雑誌](#) 26(5):391-
394 , 2010
56.
浅井宣樹 , 谷口泰徳 , 岩田勝栄 , 寺口真年 , 吉田宗人 : 副甲状腺機能亢進症により発症した手根管症候群の 1 例 . [中部日本
整形外科災害外科学会雑誌](#) 53(2) : 433-434, 2010
57.
岡田紗枝 , 北野陽二 , 佐々木俊二 , 安藤宗治 , 麻殖生和博 , 山崎悟 , 玉置哲也 : 中部日本整形外科災害外科学会雑誌
日本整形外科災害外科学会抄録 3(1):165-166, 2010
58.
瀧口登 , 吉田宗人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 岩崎博 : 3 次元 MRI における後根神経節の形態異常と臨床所見の関連 . [中
部日本整形外科災害外科学会雑誌](#) 53(5): 1011-1012 , 2010
59.
籠谷良平 , 谷口泰徳 , 前田孝浩 , 岩田勝栄 , 吉田宗人 : 癒合部切除術を行った舟状・第一楔状骨癒合症例 . [中
部日本整形外科災害外科学会雑誌](#) 53(3):509-510, 2010
60.
寺口真年 , 浜崎広洋 , 松本卓二 , 西山大介 , 下江隆司 : 腸腰筋膿瘍に続発した化膿性股関節炎例 . 中部日本整
形外科災害外科学会雑誌 53(5):1173-1174, 2010
61.
寺口真年 , 松本卓二 , 西山大介 , 下江隆司 , 浜崎広洋 : 大腿骨転子部骨折に対する cerTAN の使用経験 . 中部日
本整形外科災害外科学会雑誌 巻秋季学会 : 212, 2010
62.
寺口真年 , 松本卓二 , 西山大介 , 下江隆司 , 浜崎広洋 : 大腿骨転子部骨折に対する cerTAN の比較検討 術後の
telescoping 量について . 骨折 32:S49, 2010
- 63.

久保井勇樹 , 谷口泰徳 , 辻本修平 , 中谷匡登 , 岩田勝栄 , 吉田宗人 : 後脛骨筋腱鞘炎の1例 . 中部日本整形
外科災害外科学会雑誌 53(3):712,2010

64.

久保井勇樹 , 岡田基宏 , 南出晃人 , 山田宏 , 橋爪洋 , 中川幸洋 , 河合将紀 , 岩崎博 , 筒井俊二 , 石元
優々 , 長田圭司 , 瀧口登 , 吉田宗人 : 頸椎椎弓形成術後に隣接椎間障害を来した1例 . 中部日本整形外科災害外
科学会雑誌 53(1) : 232 , 2010

65.

久保井勇樹 , 中川幸洋 , 吉田宗人 , 南晋司 , 山田宏 , 北裏清剛 慢性経過により腫瘤化した腰椎黄色靱帯内血腫の
1例 . 臨床整形外科 45(7):643-647,2010

66.

小西麻耶 , 中根康博 , 成川臨 , 山本義男 , 中川雅文 , 左近奈菜 , 延與良夫 , 松本卓二 , 川上守 : 変形性膝
関節症に対する装具療法とホームエクササイズによる運動療法の効果 . 関西臨床スポーツ医・科学研究会誌
58,2010

その他の論文 (症例報告等)

1. 北野岳史 , 谷口泰徳 , 岩田勝栄 , 下江隆司 , 吉田宗人 : 神経周囲の脂肪肥大が原因となった内反肘に合併した
肘部管症候群の1例 . 日本肘関節学会雑誌(2):71-73,2010
2. 北野岳史 , 谷口泰徳 , 岩田勝栄 , 下江隆司 , 浅井宣樹 , 吉田宗人 : 神経周囲の脂肪肥大が原因となった内反
肘に合併した肘部管症候群の例 . 中部日本整形外科災害外科学会雑誌(5):1151-1152,2010

学会報告

a) 国際学会

【受賞】

1. Mayumi S, Yukihiko N, Munehito Y, Hiroshi Y, Hiroshi H, Akihito M, Masahiko K : Microendoscopic laminoplasty for cervical
myelopathy with cervical disc herniation –A Report of two cases–. Combined meeting of PAMISS and WENMISS, 2010, 8, 12-
14, Taipei

【発表】

1. Taniguchi Y: Kienböck's disease in elderly patients. International Meeting on Kienböck's Disease Vienna, 2010.5. Vienna Austria
2. Taniguchi Y: Incidentally-diagnosed Kienböck's disease. International Meeting on Kienböck's Disease Vienna, 2010.5. Vienna
Austria
3. Taniguchi Y: Rotary subluxation of the scaphoid in Kienböck's disease is not a cause of scapholunate advanced collapse
wrist. International Meeting on Kienböck's Disease Vienna, 2010.5. Vienna Austria
4. Taniguchi Y, Kitano T, Shimoe T, Asai Y : . Evaluation of resection of the scaphoid . The 83rd Annual Meeting of the Japanese
Orthopaedic Association , 2010.5 , Tokyo
5. Taniguchi Y: Simple decompression with small skin incision for the cubital tunnel syndrome. 11th Congress of International
Federation of Societies for Surgery of the Hand , 2010.11, Seoul Korea
6. Ando M, Tamaki T, Maio K, Yoshida M : The usefulness and pitfall of intraoperative spinal cord monitoring. 29th International
Congress of Clinical Neurophysiology, 2010.10, Kobe
7. Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Kioka M, Ishimoto Y,
Nagata K, Takiguchi N : The failed spine due to the double-crush syndrome of the 5th lumbar spinal nerve. - Efficacy of

- posterior spinal endoscopic surgery for its salvage-.The Combined Meeting of PASMIS and WENMIS. Aug12-14, 2010. Taiwan
8. Yamada H, Takami M, Tsutsui S, Endou,T, Kawakami M, Yoshida M, Tamaki T: The simple test for the prediction of surgical outcome in patients with cervical spondylotic myelopathy the CSRS 2010 Annual Meeting, 2010.12.2-4. Charlotte, North Carolina, USA.
 9. Hashizume H, Yoshida Y, Kawakami M, Yamada H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Enyo Y, Endo T, Kioka M, Ishimoto Y, Nagata K: Podium presentation: Does the decompression surgery improve the LBP in the degenerative lumbar spondylolisthesis? The 37th annual meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine, 2010.4, Auckland, New Zealand.
 10. Hashizume H, Yoshida Y, Yamada H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Kioka M, Ishimoto Y, Nagata K, and Takiguchi N: Podium presentation: Efficacy of the Microendoscopic Surgery for the Tandem Spinal Stenosis. The 10th Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery, 2010.8, Taipei, Taiwan
 11. Hashizume H, Yoshida Y, Yamada H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S: Surgical outcome of the tandem operation for the combined stenosis of the cervical and lumbar spine. The 16th Triennial Congress of the Asia Pacific Orthopaedic Association, 2010.11, Taipei, Taiwan
 12. Minamide A, Yoshida M, Nakagawa Y, Kawai M, Yamada H, Hashizume H, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Kioka M, Nagata K, Ishimoto Y, Takiguchi N : Clinical outcomes of microendoscopic spinal surgery for elderly patients with cervical myelopathy. 1st Annual Meeting of Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section. April 24-25, 2010, Kobe.
 13. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Kioka M, Ishimoto Y, Nagata K : Factors affected to clinical outcomes of decompression surgery without fusion for degenerative lumbar spondylolisthesis. 37th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine. April 13–17, 2010, Auckland, New Zealand.
 14. Minamide A, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Kioka M, Nagata K, Ishimoto Y, Takiguchi N : Clinical Outcomes of Microendoscopic Spinal Surgery for Elderly Patients with Cervical Spondylotic Myelopathy. 10th Annual Meeting of Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery. August 12-14, 2010, Taipei, Taiwan
 15. Minamide A, Yoshida M, Nakagawa Y, Kawai M, Yamada H, Hashizume H, Iwasaki H , Tsutsui S, Okada M, Kioka M, Nagata K, Ishimoto Y, Takiguchi N : Cervical Endoscopic Surgery for Cervical Spondylotic Myelopathy –A novel technique and clinical results. 38th Annual Meeting of the Cervical Spine Research Society. December 2-4, 2010, Charlotte, North Carolina.
 16. Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Minamide A, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Kioka M : Miroendoscopic posterior cervical foraminotomy –a novel technique to avoid neural damage and excessive bleeding- . 1st Cervical Spine Research Society –Asia Pacific, 2010. 4.24-25, Kobe
 17. Nakagawa Y, Yoshida M, Yamada H, Hasizume H, Minamide A, Nishi H, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Kioka M : Minimally invasive excision of huge central type lumbar posterior endplate lesion using a spinal endoscope . Combined meeting of PASMIS and WENMIS, 2010, 8, 12-14, Taipei

18.

Kawai M, Yoshida M, Nakagawa Y, Maio K, Minamide A, Tsutsui S : long-term outcomes of microendoscopic discectomy for lumbar disc herniation. The 20th Japanese-Korean Combined Orthopaedic Symposium, 2010. 6. 3-4, Ibusuki Hakuuikan, JAPAN

19.

Kawai M, Yoshida M, Yamada H, Hashizume H, Nakagawa Y, Minamide A, Nomura K, Nakao S, Kioka M: Short-term outcomes of thoracic microendoscopic laminectomy for the ossification of ligamentum flavum. PASMIS 2010, 2010. 8. 12-14, Shangri-La's Far Eastern Plaza Hotel Taipei, TAIWAN

20.

Tsutsui S, Watanuki A, Yamada H, Nagata K, Enyo Y, Yoshimura N, Yoshida M. : Risk Factors for de Novo Degenerative Lumbar Scoliosis in Japanese Men and Women: A 15-year Follow-up of the Miyama Cohort Study. 20th Japanese-Korean Combined Orthopaedic Symposium 2010. Jun. 6, Ibusuki, Kagoshima, Japan

21.

Kioka M, Yoshida M, Nakagawa Y, Minamide A, Kawai M, Yamada H : Computer-Assisted Navigation for Microendoscopic foraminotomy in Case of Cervical radiculopathy. The Combined Meeting of 10th PASMIS and 4th WENMIS, 2010.8, Taipei, Taiwan

22.

Taniguchi W, Nakatsuka T, Miyazaki N, Abe T, Takiguchi N¹, Kawasaki Y, Takeda D, Yoshida M : In vivo patch-clamp analysis of dopaminergic descending inhibitory pathway in the spinal dorsal horn. 7th Combined Meeting of Orthopaedic Research Societies, 2010. 10, Kyoto

23.

Taniguchi W, Nishio N, Takiguchi N, Miyazaki N, Kawasaki Y, Takeda D, Yoshida M, Nakatsuka T : In vivo patch-clamp analysis of dopaminergic descending inhibitory pathway in the spinal dorsal horn. 40th Annual Meeting of Neuroscience, 2010. 11, San Diego

24.

Ishimoto Y, Yoshimura N, Yamada H., Nagata K., Hashizume H., Yoshida M. : Exercise, calcium intake, and intake of breakfast during high school are associated with high bone mineral density in male adolescents. IOF WCO-ECCEO10 Congress, 2010.5.5-8 , Florence, Italy

25.

Ishimoto Y, Yamada H, Yoshida M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M, Iwasaki H, Tsutsui S, Okada M, Kioka M, , Nagata K, Takiguchi N : A surgery strategy for lumbar radiculopathy due to foraminal stenosis secondary to osteoporotic spinal fracture ~pin-point surgery via spinal endoscope ~.PASMIS, August 14-16, 2010. Taipei, Taiwan

26.

Kitano T, Taniguchi Y, Iwata S, Shimoe T, Yoshida M: Vascularized Flaps for Coverage of Skin Defects in the Upper Limbs. The 20th Japanese-Korean Combined Orthopaedic Symposium, 2010.6, Kagoshima

27.

Nagata K, Hashizume H, Yamada H, Ishimoto Y, Yoshida M, Yoshimura N : Changes in bone mineral density(BMD) and factors associated with BMD changes in adolescents: A 3-year observation in Japanese medical students. A clinical study for the deep sensibility disturbance in the lumbar spinal stenosis. World Congress on Osteoporosis 2010 IOF WCO - ECCEO10 Florence, May 5-8, 2010, Italy

28.

Shimoe T, Taniguchi Y, Kitano T, Asai Y, Sonekatsu M, Yoshida M : Evaluation of Resection of the Scaphoid. 11th Triennial Congress of the International Federation of Society for Surgery of the Hand, 2010.11.3. Seoul

b) シンポジウム，学術講演等

1. Yoshida M: 10 years experiences in microendoscopic surgery. ISMISS/SICOT 2010 INTERNATIONAL 28th COURSE,2010, 2010 January 27-28 Zurich-Switzerland
2. Yoshida M: RECENT TEN YEARS EXPERIENCES IN MICROENDOSCOPIC SPINAL SURGERY APOA/TOA 2010 59th Annual Meeting of Taiwan Orthopaedic Association , 2010、 November 4-7, Taipei-Taiwan
3. Yoshida M: Indications and Clinical Outcomes of Microendoscopic Spinal Surgery in the Elderly. Combined Meeting of PAMISS and WENMISS 2010, 2010.8.12-14 . Taipei-Taiwan.
4. 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症の自然経過からみた治療法の選定学会学術講演会 田辺市， 2010.2 田辺市・日高・西牟婁郡
5. 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症の多様性と内視鏡手術．総合南東北病院メディカルカンファレンス 2010.6 福島県郡山市
6. 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症ならびに腰椎椎間板ヘルニアの治療方針．信原病院講演会兵庫県たつの市
7. 吉田宗人：脊椎疾患に対する観血的治療と保存治療TEX 第13回全体研修会 2010.9 大阪市
8. 吉田宗人：腰部神経根障害の多様性と内視鏡的アプローチの形成 22年度広島大学整形外科学教室同門会教育研修会0.12
9. 谷口泰徳：マイクロサージャリーによる四肢再建のあれこれ2 和歌山臨床整形外科医会 研修会， 2010.11. 和歌山市
10. 谷口泰徳：キーンバック病の手術の適応について 27第11回中部日本手の外科研究会 2010.1. 大阪
11. 安藤宗治：腰椎変性すべり症の診断と治療（神経学的診断、） AOSpine Local Seminar Osaka、 2010.8.10 大阪
12. 安藤宗治：ロコモティブシンドロームと腰痛（各論）骨と関節の日講演会10.3 和歌山
13. 山田宏，吉田宗人，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，筒井俊二，岡田基宏，木岡雅彦：腰椎椎間孔部狭窄症の神経圧迫様式からみた手術術式の再考．第83回日本整形外科学会学術総会，2010.5.27-30. 東京
14. 山田宏，吉田宗人，橋爪洋，南出晃人，中川幸洋，河合将紀，岩崎博，筒井俊二，木岡雅彦，石元優々，長田圭司，瀧口登，籠谷良平：腰仙椎移行部外側狭窄に対する脊椎内視鏡手術の実際第13回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会010.11.27.神戸市
15. 山田宏：腰部脊柱管狭窄症における脊柱管外病変の診断．大阪臨床整形外科医会研修会0, 大阪市
16. 山田宏：ロコモティブシンドローム総論（市民公開講座 最新の医療カンファランス， 2010.6.10. 和歌山市
17. 山田宏：腰部脊柱管狭窄における外側病変の診断1回和歌山の浦低侵襲脊椎外科セミナー2010.6.11. 和歌山市
18. 山田宏：1.Natural courses 2.MIS2 (MED) . AOSpine Local Seminar in lumbar degenerative spondylolisthesis: Diagnosis & Treatment , 2010 . 8.7. 大阪市
19. 山田宏：ロコモティブシンドローム・腰痛 総論．骨と関節の日記念事業 2010.10.3. 和歌山市
20. 山田宏： Failed back surgery syndrome を防ぐための腰椎外側病変の診断と治療 79回かきねの会， 2010.10.30.和歌山市
21. 山田宏：腰椎椎間孔狭窄について．第50回新潟脊椎外科研究会2010.11.6. 新潟市
22. 山田宏：整形外科の立場からみた脊柱管狭窄症の診断と治療STOプロジェクト（lumbar Spinal Stenosis Diagnosis Support Tool

Project) を含めて - 2010.11.11. 大阪市

23.

橋爪洋：肢体不自由の障害認定の取扱いについて—整形外科疾患・外傷による障害を診断する際の注意点。和歌山県身障指定医研修会
2010。和歌山市

24.

橋爪洋：後縦靭帯骨化症 (OPLL) について。後縦靭帯骨化症医療相談会010。2。和歌山市

25.

橋爪洋：腰痛のお話。介護予防のまちづくり講演会010。6。橋本市

26.

橋爪洋：肩こりってなに？久光製薬講演会010。10。和歌山市

27.

橋爪洋：骨を守りましょう！骨ケアフェスタ和歌山010。12。和歌山市

28.

南出晃人：日常診療で遭遇する腰痛の診断と治療。和歌山市医師会内科部会010.2.4. 和歌山市

29.

南出晃人：脊椎変性疾患に対する脊椎内視鏡手術の実践。第41回秋田県脊椎脊髄病研究会010.3.27. 秋田市

30.

南出晃人、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、中川幸洋、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登：高齢者脊椎疾患に対する手術戦略。頸椎症性脊髄症の頸椎症性脊髄症に対する内視鏡下後方除圧術の有用性の検討。第39回日本脊椎脊髄病学会。2010.4.22-24. 高知市

31.

南出晃人：腰痛の治療。LBP Seminar in Wakayama 2010. 2010.6.10. 和歌山市

32.

南出晃人：高齢者脊椎疾患に伴う運動器不安定症 - 骨粗鬆症について。田辺市日高西牟婁郡三医師会学術講演会0.6.24. 田辺市

33.

南出晃人、吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症の自然経過。23回日本臨床席計外科学会学術集会10.7.18-19. 神奈川

34.

南出晃人：腰部脊柱管狭窄症の病態と治療。海南医師会学術講演会。2010.11.6. 海南市

35.

中川幸洋、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、西秀人、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登：高齢者の腰部脊柱管狭窄症患者に対する後方内視鏡下除圧術。第39回日本脊椎脊髄病学会2010.4.22-24。高知

36.

中川幸洋、吉田宗人、南出晃人、河合将紀、麻殖生和博、山田宏、橋爪洋、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、木岡雅彦：頸椎部内視鏡手術の将来展望と限界。第3回日本整形外科学会学術総会。2010.5.27-30。東京

37.

中川幸洋、安藤宗治、玉置哲也、山田宏、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、橋爪洋、南出晃人、河合将紀、吉田宗人：術中脊髄機能モニタリングの現状と課題。第83回日本整形外科学会学術総会。2010.5.27-30。東京

38.

中川幸洋：腰部脊柱管狭窄症に対する後方内視鏡下除圧術 -片側進入両側除圧のポイント-。第1回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー。2010.6.11。和歌山市

39.

中川幸洋 手術手技レクチャー 腰椎内視鏡手術-腰部脊柱管狭窄症- 内視鏡下腰椎後方除圧術 (脊柱管内除圧) 和歌の浦低侵襲

脊椎外科セミナー， 2010.6.12 . 和歌山市

40.

南晋司、吉田宗人：関節リウマチに対する人工関節置換術．日本リウマチ学会記念事業， 2010.11.21，和歌山市

41.

南晋司：関節リウマチの治療 海南市薬剤師会 2010.10.29，海南市

42.

野村和教：職場における腰痛 平成 22年度和歌山市医師会産業医部会総会特別講演010.6.5 . 和歌山

43.

中根康博：肩の機能診断と鏡視下手術 - いまと今後の展望第 100 回和歌山臨床整形外科医会研修会10.4.24 . 和歌山

44.

中根康博：肩関節鏡手術の現状と問題点 .1第回和歌山肩人会 MITEK 共催， 2010.5.15 . 和歌山

45.

納田和博、松崎交作、船岡信彦、遠藤徹、平一裕、延与良夫、北野岳史：人工股関節置換術後の静脈血栓塞栓症に対するエノキサパリン
る予防効果の検討わかやま 整形外科 VTE フォーラム，2010.9 . 和歌山

46.

納田和博： MIS-THA の現状 . 平成 21年度和歌山県立医科大学整形外科同門会総会010.11 . 和歌山

c) 全国学会

1. 谷口泰徳、北野岳史、浅井宣樹、下江隆司、岩田勝栄、吉田宗人：内上顆切除後に著明な破壊性肘関節症を来回再発肘関節学会， 2010.2 . 埼玉市

2. 谷口泰徳、北野岳史、下江隆司、吉田宗人：バネ指手術による医原性末梢神経損傷例の検討．第53回日本形成外科学会， 2010.4 . 金沢市

3. 谷口泰徳、北野岳史、浅井宣樹、下江隆司、吉田宗人：変形性遠位橈尺関節症に合併した伸筋腱靭帯断裂の危険因子．第53回日本手の外科学会， 2010.4 . 新潟市

4. 谷口泰徳、北野岳史、浅井宣樹、下江隆司、吉田宗人：変形性遠位橈尺関節症に合併した伸筋腱靭帯断裂の危険因子．第83回日本整形外科学会学術総会，2010.5 . 東京

5. 谷口泰徳、北野岳史、下江隆司、山中学、吉田宗人：皮弁による膝関節部周囲皮膚欠損の再建 第1回マイクロサージャリー学会 2010.11 . 名古屋

6. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、峠康、山崎悟、北野岳史、太田泰宏、岡田紗枝、佐々木俊二、吉田宗人： HA スパーサーを使用した棘突起縦割式頸椎椎弓形成術の問題点9.回日本脊椎脊髄病学会2010.4. 高知

7. 安藤宗治、玉置哲也、麻殖生和博、峠康、山崎悟、北野岳史、太田泰宏、岡田紗枝、佐々木俊二、吉田宗人：当科で施行した術中脊髄機能モニタリングの検討．第9回日本脊椎脊髄病学会2010.4. 高知

8. 松山幸弘、四宮謙一、安藤宗治、川端茂徳、小島宗紀、齋藤貴徳、滝徳宗、谷口慎一郎、山本直也、伊藤全哉、谷俊一：脊椎脊髄手術の安全対策例に対する術中脊髄モニタリング 脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による前向き多施設調査．第9回日本脊椎脊髄病学会2010.4. 高知

9. 松山幸弘、四宮謙一、安藤宗治、川端茂徳、寒竹司、齋藤貴徳、谷口慎一郎、山本直也、伊藤全哉、里見和彦、谷俊一：術中脊髄機能モニタリングの有用性と課題 術中脊髄モニタリング、最近の知見と進歩 脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による前向き多施設調査．第3回日本整形外科学会、2010.5. 東京

10.

山田宏、吉田宗人、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、筒井俊二、岡田基宏、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧崎登
管外狭窄病変は無症候性が多いというのは事実か？ 39回日本脊椎脊髄病学会2010.4.22-24 . 高知市

11.

- 山田宏, 吉田宗人, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 遠藤徹夫, 野村和教, 中尾慎一: 5 腰椎神経のダブルクラッシュ症候群. 第9回日本脊椎脊髄病学会2010.4.22-24. 高知市
12.
山田宏, 吉田宗人, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 木岡雅彦, 岡田基宏, 石元優々, 長田圭司, 瀧口登: L5-S1 腰椎椎間孔部狭窄症の手術術式の再考. 第9回日本脊椎脊髄病学会2010.4.22-24. 高知市
13.
山田宏, 吉田宗人, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 岡田基宏, 木岡雅彦, 石元優々, 長田圭司, 瀧口登, 遠藤徹, 中村靖司: 腰仙椎移行部の椎間孔外狭窄における腰仙靭帯の関与について - 解剖学および病理組織学的検討. 第10回日本整形外科学会基礎学術集会, 2010.10.14-15. 京都市
14.
橋爪洋, 吉田宗人, 山田宏, 南出晃人, 中川幸洋, 西秀人, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 岡田基宏, 木岡雅彦, 石元優々, 長田圭司, 瀧口登: 複数病変手術における合併症対策 - 脊椎内視鏡の有用性について. 第39回日本脊椎脊髄病学会2010.4. 高知市
15.
橋爪洋, 吉田宗人, 山田宏, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 木岡雅彦, 石元優々, 長田圭司: 頸椎・腰椎同時手術における合併症対策 - 脊椎内視鏡の有用性について. 第83回日本整形外科学会学術総会 2010.5. 東京
16.
南出晃人, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 中川幸洋, 西秀人, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 岡田基宏, 木岡雅彦, 石元優々, 長田圭司, 瀧口登: 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術と固定術の臨床成績の比較. 第39回日本脊椎脊髄病学会. 2010. 4. 22-24. 高知市
17.
南出晃人, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 中川幸洋, 西秀人, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 岡田基宏, 木岡雅彦, 石元優々, 長田圭司, 瀧口登: 腰椎変性すべり症に対する手術方法別による臨床成績の比較 - 内視鏡下除圧術と固定術. 第10回日本整形外科学会学術総会. 2010. 5. 27-30. 東京
18.
南出晃人, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 中川幸洋, 岩崎博, 筒井俊二, 岡田基宏, 河合将紀: 腰椎変性すべり症に対する固定術の有用性. 固定術と非固定術の比較. 第19回日本脊椎インストゥルメンテーション学会. 2010. 10. 28-29. 札幌市
19.
西秀人, 吉田宗人, 川上守, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二: 当院における化膿性脊椎炎の臨床像移について. 第39回日本脊椎脊髄病学会2010.4.24. 高知
20.
南晋司, 中谷如希, 坂田亮介, 宮崎展行, 綿貫匡則, 中谷匡登, 三宅悠介, 吉田宗人: 人工膝関節置換術後に踵骨滑液膜炎を呈した2例. 第2回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会. 2010.7.2-4, 沖縄
21.
南晋司, 綿貫匡則, 宮崎展行, 中谷正登, 坂田亮介, 三宅悠介, 吉田宗人, 神波信次: 深部静脈血栓症にて初発した仙骨軟骨肉腫1例. 第43回日本整形外科学会・軟部腫瘍学術集会, 2010.7.15-16, 東京
22.
南晋司, 坂田亮介, 宮崎展行, 中谷匡登, 三宅悠介, 吉田宗人: 人工骨頭高位脱臼に対し人工股関節置換術を施行した1例. 第7回日本股関節学会, 2010.10.1-2, 福岡
23.
河合将紀, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 岩崎博, 筒井俊二, 木岡雅彦, 石元優々, 長田圭司, 野村和教, 中尾慎一: 胸椎黄色靭帯骨化症に対する内視鏡下骨化摘出術の短期成績. 第9回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 2010.4.22-24. 高知

24.

河合将紀, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 岩崎博, 筒井俊二, 木岡雅彦, 石元優々, 長田圭司, 野村和教, 中尾慎一: 神経根症を呈するガス含有椎間板ヘルニアに対するMEDの治療経験. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2010.4.22-24 . 高知

25.

麻殖生和博、佐々木俊二、安藤宗治、峠康、山崎悟、高見正成、太田泰宏、神埜聖治：腰椎内視鏡手術後の職場復帰職業災害医学会, 2010.11. 浦安市

26.

山崎悟、安藤宗治、麻殖生和博、北野岳史、松本朋子、峠康：右大腿切断患者に左人工膝関節置換術を施行した症例のレビュー。一シヨン医学会学術集会 2010.5 . 鹿児島

27.

山崎悟、佐々木俊二、麻殖生和博、岡田紗枝：右大腿切断患者に左人工膝関節置換術を施行した症例のレビュー。一シヨン医学会学術集会 2010.5 . 鹿児島

28.

岩崎博, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 筒井俊二: 遠位潜時を用いた腰椎椎間孔外狭窄症診断法の確立. 第 83 回日本整形外科学会総会2010.5. 東京

29.

岩崎博, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 筒井俊二: 腰椎椎間孔外狭窄症の新しい電気生理学的診断 第 5 腰椎神経以外の障害. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会, 2010.4. 高知

30.

岩崎博, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 筒井俊二: 脊髄症・神経根症における機能診断の進歩 電気生理学的評価法を用いた腰椎椎間孔外狭窄症の診断第 39 回日本脊椎脊髄病学会, 2010.4. 高知

31.

坂田亮介, 南晋司, 中根康博, 築瀬能三, 宮崎展行, 綿貫匡則, 中谷匡登, 三宅悠介, 神埜聖治, 谷口泰徳, 吉田宗人 化膿性肩関節炎の治療経験第38回日本関節病学会, 2010 . 11 . 京都

32.

坂田亮介, 南晋司, 中谷如希, 宮崎展行, 綿貫匡則, 中谷匡登, 三宅悠介, 吉田宗人: 術後 20 年で TKA 後方脱臼を生じた関節リウマチの 1 例. 第 2 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS), 2010 . 7 . 沖縄

33.

野村和教, 吉田宗人, 河合将紀, 中尾慎一: 腰椎内視鏡手術の医療経済効果 第 39 回日本脊椎脊髄病学会, 2010.4.22-24 . 高知

34.

野村和教, 吉田宗人, 河合将紀, 麻殖生和博, 中尾慎一: サルベージ手術としてMED—腰椎椎間板ヘルニア再手術症例の検討から— . 第39回日本脊椎脊髄病学会2010.4.22-24 . 高知

35.

野村和教, 吉田宗人, 河合将紀, 岡田基宏, 中尾慎一: スポーツ選手に対する腰椎内視鏡下椎間板摘出術16回日本最小侵襲整形外科学会, 2010.11.13-14 . 横浜 .

36.

筒井俊二、吉田宗人、山田宏、橋爪洋、南出晃人、中川幸洋、河合将紀、岩崎博、岡田基弘、木岡雅彦、石元優々、長田圭司、瀧口登、哲也、安藤宗治、高見正成術中運動機能モニタリングとしての経頭蓋電気刺激複合筋活動電位記録と術前後の筋力関係日本脊椎脊髄病学会、2010. 4. 高知

37.

筒井俊二、安藤宗治、山田宏、中川幸洋、岩崎博、高見正成、橋爪洋、南出晃人、河合将紀、玉置哲也術中運動機能モニタリン

- グとしての経頭蓋電気刺激複合筋活動電位記録の検討 手術前後の筋力からみて . 第 83 回日本整形外科学会学術総会, 2010. 5. 東京
38.
中根康博、川上守、延與良夫、岩崎正文、吉田宗人：若年者PASTA lesion が反復性肩関節前方不安定症の主要因と考えられた 1 例 .
第 2 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(KSKAS) , 2010.7.2 , 沖縄
39.
小西麻耶、中根康博、成川臨、山本義男、中川雅文、左近奈菜、延與良夫、松本卓二、川上守：変形性膝関節症に対する装具療法とホー
クササイズによる運動療法の効果 . 第回関西臨床スポーツ医・科学研究会 2010.6.12 , 大阪
40.
高見正成、山田宏、吉田宗人：高エネルギー外傷における全脊椎の有用性 . 第 39 回日本脊椎脊髄病学会学術集会2010.4.22, 高知
市
41.
高見正成、山田宏、吉田宗人：胸腰椎破裂骨折に対するstent を用いた経皮的後方固定とvertebroplasty を併用したwithout fusion 法
による低侵襲手術 . 第 39 回日本脊椎脊髄病学会学術集会2010.4.23, 高知市
42.
高見正成、納田和博、阪中淳也、宮崎展行、吉田宗人：高エネルギー外傷における全脊椎の有用性 . 第 83 回日本整形外科学会学術集
会 .2010.5.27, 東京
43.
納田和博、松崎交作、船岡信彦、遠藤徹、平一裕、山崎悟、勝田紘史、西直股に対して two-incision approach による人工
股関節置換術を施行した例 . 第 37 回日本股関節学会, 2010.10. 福岡
44.
宮崎展行、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、中谷匡登、三宅悠介、神埜聖治、谷口亘、吉田宗人： THA における Exeter と C-stem のア
ライメント比較検討第37回日本股関節学会 2010.10.1-2 . 福岡市
45.
宮崎展行、築瀬能三、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、中谷匡登、三宅悠介、吉田宗人： TKA 後に膝蓋骨再置換を要した症例の術後成績 .
第 2 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(QSKAS) , 2010.7.2-4 . 沖縄
46.
宮崎展行、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、中谷匡登、三宅悠介、吉田宗人：ハイブリッド人工股関節全置換術においてトラネキサム酸は術後
出血量を減少させるが深部静脈血栓症は増加させない . 第 83 回日本整形外科学会学術総会 , 2010.5.27-30 . 東京
47.
宮崎展行、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、谷口亘、中谷匡登、三宅悠介、吉田宗人：ハイブリッド人工股関節全置換術におけるトラネキサム
酸の止血効果 . 第 0 回日本人工関節学会 , 2010.2. 26-27 . 沖縄
48.
木岡雅彦 , 吉田宗人 , 森正人 , 今西勁峰 , 井上喜仁 , 湊小太郎 , 中尾恵 , 高橋隆 , 今中良一 , 山田宏 , 橋爪洋 , 南出
晃人 , 中川幸洋 , 河合将紀 , 筒井俊二 , 岩崎博 : 脊椎内視鏡手術における新しい掘削シミュレーターの開発 . 第 9 回日本脊椎
脊髄病学会 . 2010.4. 高知市
49.
木岡雅彦 , 吉田宗人 , 河合将紀 , 山田宏 , 南出晃人 , 中川幸洋 : 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの現状と未来 . 第
45 回日本脊髄障害医学会 , 2010.10. 松本市
50.
畑丈智 , 中尾恵 , 木岡雅彦 , 吉田宗人 , 今中良一 , 湊小太郎 : " 内視鏡下脊椎後方手術における切削計画支援のためのリアルタイム
応力解析 " , 第 49 生体医工学会大会FC-25-2, 2010.6 大阪

51.

今西勁峰, 中尾恵, 木岡雅彦, 森正人, 吉田宗人, 高橋隆, 湊小太郎: "2D ポインティングデバイスを用いたED 法のための切削計画支援手法. 第 10 回日本 VR 医学会学術大会, p13, 2010.9. 京都

52.

坂部祥貴, 中尾恵, 木岡雅彦, 吉田宗人, 湊小太郎: "椎骨と神経の同時可視化のためのT-MRI非剛体位置合わせ". 医用画像工学
会大会, OP7-03, 2010.7. 神奈川

53.

井上喜仁, 中尾恵, 今西勁峰, 木岡雅彦, 森正人, 吉田宗人, 高橋隆, 湊小太郎 "内視鏡下脊椎後方手術計画支援のためのポ
リウム切削システムの開発. 医用画像研究会 (MI) 電気通信学会, pp.31-35, 2010.9. 埼玉

54.

大宝英矢, 山口耕史, 他: 涙痕間線と小転子を基準とした脚長差測定の精度に関する検討. 日本整形外科学会, 2010.10. 福岡

55.

綿貫匡則, 筒井俊二, 山田宏, 延與良夫, 吉村典子, 岡敬之, 阿久根徹, 村木重之, 他: 鹿島市民コホートをを用いた腰椎変性側彎新規
発生例の疫学調査. 第 39 回日本脊椎脊髄病学会, 2010. 4. 高知

56.

綿貫匡則, 筒井俊二, 山田宏, 吉田宗人, 延與良夫, 吉村典子, 岡敬之, 阿久根徹, 他: 腰椎変性側彎の発生率とその特徴. 地域コホ
ート 15 年の追跡より. 第 83 回日本整形外科学会学術総会, 2010. 5. 東京

57.

綿貫匡則, 宮崎展行, 南晋司, 坂田亮介, 谷口亘, 中谷匡登, 三宅悠介, 綿貫昭則, 吉田宗人: 手術を施行した大腿骨頭および股関節臼
蓋の脆弱性骨折の一例. 第 32 回日本人工関節学会, 2010.226-27. 沖縄

58.

谷口亘, 築瀬能三, 宮崎展行, 南晋司, 坂田亮介, 綿貫匡則, 中谷匡登, 三宅悠介, 吉田宗人: プレート破損による後大腿骨骨
幹部骨折の 1 例. 第 40 回日本人工関節学会, 2010.226-27. 沖縄

59.

谷口亘, 中塚映政, 宮崎展行, 藤田亜美, 熊本栄一, 吉田宗人: in vivo patch-clamp 法を用いた脊髄後角におけるドパミン疼痛
抑制作用機序の解析. 第 32 回日本疼痛学会, 2010. 7. 京都

60.

Taniguchi W, Nakatsuka T, Miyazaki N, Abe T, Takiguchi N, Kawasaki Y, Takeda D, Fujita T, Kumamoto E, Yoshida M: In vivo patch-
clamp analysis of the actions of dopaminergic nervous system in substantia gelatinosa neurons of the rat spinal cord. Neuro2010 .
第 33 回日本神経科学大会. 2010. 9. 神戸

61.

谷口亘, 中塚映政, 宮崎展行, 阿部唯一, 瀧口登, 吉田宗人: 脊髄後角におけるドパミン疼痛抑制系の作用機序. vivo パ
ッチクランプ法を用いた末梢刺激の解析. 第 25 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2010.10.14-15. 京都

62.

北野岳史, 谷口泰徳, 岩田勝栄, 下江隆司, 浅井宣樹, 吉田宗人: 肘部周囲の脂肪肥大が原因となった肘部管症候群の例. 第 22 回日
本肘関節学会, 2010.2. 埼玉

63.

北野岳史, 谷口泰徳, 浅井宣樹, 下江隆司, 吉田宗人: 伏せにより発症した肘部管症候群. 第 53 回日本手外科学会, 2010.4. 新潟

64.

北野岳史, 谷口泰徳, 浅井宣樹, 下江隆司, 吉田宗人: 上肢悪性腫瘍の血管柄付き皮弁再建による治療. 第 20 回日本手外科学会,
2010.4. 新潟

65.

中谷匡登, 宮崎展行, 三宅悠介, 谷口亘, 綿貫匡則, 坂田亮介, 南晋司, 吉田宗人: 腰椎神経ブロック併用持続大腿神経ブロックと持続硬膜外ブロックによるTKA術後疼痛の比較検討. 第40回日本人工関節学会, 2010.226-27. 沖縄

66.

長田圭司, 山田宏, 岩崎博, 安藤宗治, 遠藤徹, 吉田宗人: ANAP から見た第5腰椎神経除圧後の予後予測. 第83回日本整形外科学会学術総会, 2010.5. 東京

67.

長田圭司: 若年男女の骨密度変化と骨密度低下に影響を及ぼす要因-医学部新入生における骨密度追跡調査-. 第83回日本整形外科学会学術総会, 2010.5. 東京

68.

太田泰宏: 大腿骨転子部骨折に対する各種髓内釘の治療成績. 日本骨折治療学会, 2010.7. 千葉

69.

神埜聖治, 桂婷, 盖志博, 上谷光作, 村垣泰光: 多発性内分泌腫瘍症による両側巨大褐色細胞腫に伴う腫瘍崩壊症候群を呈した剖検例. 第99回日本病理学会総会, 2010.4. 東京

70.

下江隆司, 谷口泰徳, 岩田勝栄, 北野岳史, 浅井宣樹, 寺口真年, 吉田宗人: Bado 分類不能のMonteggia 骨折の1例. 第22回日本肘関節学会学術集会. 2010.2.13. 埼玉

71.

下江隆司, 谷口泰徳, 北野岳史, 吉田宗人: 遊離複合肩甲皮弁移植による前腕部高度デグロージング損傷の治療経験. 第53回日本形成外科学会学術集会. 2010.4.8. 金沢

72.

下江隆司, 谷口泰徳, 岩田勝栄, 北野岳史, 浅井宣樹, 吉田宗人: 膠原病に合併したKienbeck 病. 第83回日本整形外科学会学術総会. 2010.5.29. 東京

73.

下江隆司, 谷口泰徳, 北野岳史, 浅井宣樹, 久保井勇樹, 吉田宗人: 足趾骨折に合併したmicrogeodic disease の1例. 第35回日本足の外科学会学術総会. 2010.6.18. 奈良

74.

三宅悠介, 宮崎展行, 南晋司, 坂田亮介, 綿貫匡則, 中谷匡登, 吉田宗人: 関節鏡視下に摘出した膝関節例. 第50回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (OSKAS), 2010.7.2-4. 沖縄

75.

三宅悠介, 築瀬能三, 宮崎展行, 南晋司, 綿貫匡則, 吉田宗人: 人工膝関節置換術後に膝蓋大腿関節に癒着組織の形成を来した40回日本人工関節学会, 2010.226-27. 沖縄

76.

浅井宣樹, 谷口泰徳, 北野岳史, 岩田勝栄, 下江隆司, 吉田宗人: バネ指手術に合併した医原性末梢神経損傷例. 第83回日本整形外科学会学術総会, 2010.5. 東京

77.

岡田紗枝, 佐々木俊二, 山崎悟, 安藤宗治, 峠康, 麻殖生和博, 北野岳史, 太田泰宏: 玉置整骨により生じた両側大腿骨頸部骨折の1例. 第37回日本股関節学会, 2010.10.2. 福岡

78.

岡田紗枝, 佐々木俊二, 山崎悟, 安藤宗治, 峠康, 麻殖生和博, 北野岳史, 太田泰宏: 骨盤整形鎖前 ACL 脛骨付着部剥離骨折に対する関節鏡視下 Pull-out 法. 第2回 JOSKAS. 2010.7.4. 沖縄

79.

寺口真年, 浜崎広洋, 松本卓二, 西山大介, 下江隆司: 大腿骨転子部骨折に対するInterTAN の使用経験. 第36回日本骨折治療学

会 ,2010.7.2-3. 幕張

80.

早川博子, 岡沙妃, 加藤佐和子, 久保ちはる, 熊谷佳奈, 宮崎展行の回数がTKA術後の屈曲角度に及ぼす影響. 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS), 2010.7.2-4. 沖縄

d) 地方学会

1. 山田宏, 吉田宗人, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀: 腰仙椎移行部における腰椎椎間孔部狭窄症の手術術式を再考する. 第114回中部日本整形外科災害外科学会Q10.4.9. 名古屋市
2. 山田宏, 吉田宗人, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀: 変性側彎に伴うfar-out syndromeに対する脊椎内視鏡手術の中期臨床成績. 第115回中部日本整形外科災害外科学会2010.10.8. 大阪市
3. 橋爪洋, 吉田宗人, 西秀人, 山田宏, 岩崎博: 化膿性脊椎炎起因菌不明例の検討. 第115回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会. 2010.10. 大阪
4. 松本卓二, 西山大介, 寺口真年, 濱崎広洋: 大腿骨近位部骨折におけるエノキサパリンおよびフォンダパリヌクミの術期値の検討. 第115回中部日本整形外科災害外科学会10.10.9. 大阪
5. 南出晃人, 吉田宗人, 山田宏, 中川幸洋, 河合将紀, 橋爪洋: 頸部脊髄症患者に対する内視鏡下頸椎後方除圧術の臨床成績. 第115回中部日本整形外科災害外科学会学術集会10.10.8-9. 大阪市
6. 中川幸洋, 吉田宗人, 河合将紀, 南出晃人, 山田宏, 麻殖生和博: 腰椎正中型巨大終板障害に対する後方内視鏡下除圧術4例. 中部日本整形外科災害外科学会学術集会Q10.4.9-10. 名古屋市
7. 西秀人, 阿部唯一, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 岡田基宏, 木岡雅彦, 長田圭司, 石元伸, 瀧口登, 吉田宗人, 延与良夫, 中根康博, 川上守: 頸椎外傷に続発した頸椎化膿性脊椎炎の例. 和歌山県整形外科医会. 2010.2.28
8. 西秀人, 阿部唯一, 宮本選, 中敏夫, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 岡田基宏, 木岡雅彦, 元優々, 長田圭司, 瀧口登, 吉田宗人: 脊髄硬膜外血腫5例の検討. 和歌山救急医療研究会2010.9.12
9. 西秀人, 橋爪洋, 岩崎博, 山田宏, 吉田宗人: 化膿性脊椎炎における易感染性宿主の検討. 第115回中部日本整形外科災害外科学会学術集会. 2010.10.8-9. 大阪市
10. 岩崎博, 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 遠藤徹: 腰椎内視鏡視下手術の有用性 - BMIと術中出血量・手術時間の関係 - 第114回中部日本整形外科災害外科学会Q10.4.9. 名古屋市
11. 中根康博, 川上守, 延与良夫, 岩崎正文, 吉田宗人: 若年者における腱板関節面不全断裂が主要因と考えられた反復性肩関節前方不安定治療経験. 第114回中部整形災害外科学会2010.4.9, 名古屋
12. 高見正成, 納田和博, 阪中淳也, 中村正亨, 山田宏, 吉田宗人: 高エネルギー外傷における全骨盤有用性. 第114回中部日本整形外科災害外科学会学術集会2010.4.9, 名古屋市
13. 高見正成, 西秀人, 岩崎博, 納田和博, 阪中淳也, 吉田宗人: 高エネルギー外傷におけるoneの検討. 第115回中部日本整形外科災害外科学会学術集会10.9, 大阪市
14. 納田和博, 松崎交作, 船岡信彦, 遠藤徹, 平一裕, 山崎悟, 勝田直樹: 膝関節に対して two-incision approach による人工股関節置換術を施行した2例. 第7回和歌山最少侵襲整形外科フォーラム2010.1. 和歌山
15. 宮崎展行, 南晋司, 坂田亮介, 綿貫匡則, 中谷匡登, 三宅悠介, 吉田宗人: スーチャーアンカーを用いた反復性膝蓋骨脱臼に対する

MPFL 再建術 . 第 7 回和歌山最小侵襲整形外科 (MIOS) フォーラム , 2010.1.23 和歌山市

16.

宮崎展行, 築瀬能三, 南晋司, 坂田亮介, 綿貫匡則, 吉田宗人: KA 後の膝蓋骨再置換症例の術後成績 . 第14 回中部日本整形災害外科学会, 2010.4.9-10 . 名古屋市

17.

宮崎展行, 南晋司, 坂田亮介, 綿貫匡則, 中谷匡登, 三宅悠介, 吉田宗人: 術前アンケートによる期待度調査 . 第115 回中部日本整形災害外科学会, 2010.10.8-9 . 大阪市

18.

木岡雅彦, 中川幸洋, 橋爪洋, 南出晃人, 筒井俊二, 岩崎博, 長田圭司, 石元優々, 岡田基弘, 山田宏, 吉田宗人: 胸椎黄色靭帯骨化症術後に発症した脊髄血管腫の 1 例 . 第 78 回和歌山医学会総会 2010.7.

19.

金川建彦, 木下裕文, 平野三好, 大宝英矢: 長管骨締結後偽関節を捌き . 第 78 回和歌山医学総会, 2010.7. 和歌山市

20.

金川建彦, 木下裕文, 平野三好, 大宝英矢, 中川幸洋, 吉田宗人: 両側発生の腰椎椎間 . 関節嚢腫に対し内視鏡下片側進入両側摘出術を行った 1 例 . 第 7 回和歌山 MIOS 研究会, 2010.1. 和歌山市

21.

北野岳史, 谷口泰徳, 岩田勝栄, 下江隆司, 浅井宣樹, 吉田宗人: 神経周囲の脂肪肥大が原因となった肘部管症候群の例 . 第 114 回中部整形外科災害外科学会 2010.4. 名古屋

22.

北野岳史, 谷口泰徳, 岩田勝栄, 三宅悠介, 吉田宗人: 神経内グングリオンによる足根管瘤候群の 20 回和歌山県整形外科医会学術集会, 2010.2. 和歌山

23.

中谷匡登, 宮崎展行, 南晋司, 坂田亮介, 綿貫匡則, 神埜聖治, 三宅悠介, 吉田宗人: HA 術中大腿骨骨幹部骨折に対する LCP Periprosthetic screw の使用経験 . 第 78 回和歌山医学会総会, 2010.7.11 . 和歌山市

24.

中谷匡登, 宮崎展行, 南晋司, 坂田亮介, 三宅悠介, 吉田宗人: 骨セメント使用に対する麻酔科医の意識調査 . 第 115 回中部日本整形災害外科学会, 2010.10.8-9 . 大阪市

25.

長田圭司, 河合将紀, 山田宏, 橋爪洋, 吉田宗人: 選択的神経根造影が不可能であった外側型腰椎椎間板ヘルニアの 1 例 . 和歌山医学会 2010.7. 和歌山

26.

長田圭司, 河合将紀, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 岩崎博, 筒井俊二, 木岡雅彦, 石元優々, 瀧口登, 吉田宗人: 硬膜骨化を伴った膨隆型胸椎黄色靭帯骨化症に対して骨化浮上術後に硬膜形成術を例えた . 京阪神集談会, 2010.9. 大阪

27.

西山大介, 浜崎広洋, 松本卓二, 下江隆司, 寺口真年: 上膝蓋アプローチを用いた脛骨髄内釘の治療経験 (extension nailing of tibia). 第 20 回和歌山県整形外科医会学術集会 2010.2.28. 和歌山

28.

西山大介, 浜崎広洋, 栗本公博, 松本卓二, 下江隆司, 寺口真年: 伸展位上膝蓋アプローチを用いた脛骨髄内釘の治療経験 . 第 115 回中部日本整形外科災害外科学会 2010.10.9. 大阪

29.

太田泰宏: 後頭骨環椎癒合症に環軸椎亜脱臼を合併し . 第 78 回 和歌山医学, 2010.7, 和歌山

30.

- 神埜聖治、宮崎展行、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、中谷匡登、三宅悠介、吉田宗人 K 過去に graft が行われた人工股関節置換術の 1 例 . 第 78 回和歌山医学会総会 , 2010.7. 和歌山
31. 神埜聖治、宮崎展行、築瀬能三、綿貫匡則、三宅悠介、吉田宗人 : 汎下垂体機能低下症が原因と考えられた両側変形性股関節症の一例 . 115 回中部日本整形外科学会災害外科学会学術集会 10.10. 大阪
32. 下江隆司、谷口泰徳、岩田勝栄、北野岳史、浅井宣樹、吉田宗人 : キーンベック病に合併した長母指屈筋腱皮下断裂の 1 例 . 114 回中部日本整形外科学会災害外科学会学術集会 10.4.9. 名古屋
33. 下江隆司、谷口泰徳、岩田勝栄、北野岳史、浅井宣樹、寺口真年、吉田宗人 : Bado 分類不能の Monteggia 骨折の 1 例 . 第 114 回中部日本整形外科学会災害外科学会学術集会 10.4.9. 名古屋
34. 下江隆司、浜崎広洋、松本卓二、西山大介、寺口真年 : 乳児に発生した中指基節骨頸部骨折の例 . 第 78 回和歌山医学会総会 , 2010.7.11. 和歌山
35. 下江隆司、谷口泰徳、北野岳史、浅井宣樹、原田悌志、吉田宗人 : 足趾骨折に合併した稀な microgeodic disease の 1 例 . 第 115 回中部日本整形外科学会災害外科学会学術集会 10.10.8. 大阪
36. 下江隆司、谷口泰徳、北野岳史、山中学、曾根勝真弓、吉田宗人 : 片側肥大症に発生した手根管症候群の例 . 第 115 回中部日本整形外科学会災害外科学会学術集会 10.10.9. 大阪
37. 下江隆司、谷口泰徳、北野岳史、山中学、曾根勝真弓、吉田宗人 : 片側肥大症に合併した手根管症候群の例 . 第 96 回日本形成外科学会関西支部学術集会 10.12.4. 大阪
38. 下江隆司、谷口泰徳、岩田勝栄、三宅悠介、吉田宗人 : Kienböck 病に合併した長母指屈筋腱皮下断裂の 1 例 . 第 20 回和歌山県整形外科医会 , 2010.2.28. 和歌山
39. 三宅悠介、宮崎展行、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、中谷匡登、吉田宗人 : 関節鏡視下に摘出した膝関節例ガ第 7 スの回和歌山最小侵襲整形外科 , 2010.1.23 , 和歌山市
40. 三宅悠介、宮崎展行、南晋司、坂田亮介、綿貫匡則、中谷匡登、神埜聖治、山口耕史、吉田宗人 : 多数の米粒体を伴った人工骨頭術後感の 1 例 . 第 78 回和歌山医学会総会 , 2010.7.11 . 和歌山市
41. 浅井宣樹、江川弘光、石口明、舟津稔博 : 橈骨・中手骨の保存的治療法 → MP 関節屈曲位での早期運動療法 ナックルキャスト ~ . 和歌山最小侵襲整形外科研究会 , 2010.1. 和歌山
42. 浅井宣樹、江川弘光、石口明、舟津稔博 : 第 4、5 C M 関節脱臼の第 78 回和歌山医学会総会 , 2010.1. 和歌山
43. 浅井宣樹、江川弘光、石口明、舟津稔博 : It Positioner を用い Condylar Stabilizing 法にて治療した橈骨遠位端骨折の小経験 . 第 10 回和歌山県整形外科医会 , 2010.2. 和歌山
44. 岡田紗枝、佐々木俊二、山崎悟、安藤宗治、峠康、麻殖生和博、北野岳史、太田泰宏 : 交通事故により生じた両側大腿骨頸部骨折

の 1 例 . 第 430 回整形外科集談会京阪神地方会010.06.19.大阪

45.

籠谷良平, 中谷如希, 林末統, 直川秀樹, 福井大輔, 山田宏: 内視鏡にて治療可能であった破壊性脊椎関節症例. 第 78 回和歌山医学会総会, 2010.7.11. 和歌山

46.

寺口真年, 浜崎広洋, 松本卓二, 西山大介, 下江隆司: 腸腰筋膿瘍に続発した化膿性股関節炎の 1 例. 第 114 回中部日本整形外科学会災害外科学会, 2010.4.9-10. 名古屋

47.

寺口真年, 浜崎広洋, 松本卓二, 西山大介, 下江隆司: 大腿骨転子部骨折に対するInterTAN の使用経験. 和歌山医学学会, 2010.7.11. 和歌山

48.

寺口真年, 浜崎広洋, 松本卓二, 西山大介, 下江隆司: 大腿骨転子部骨折に対するInterTAN の使用経験. 第 115 回中部日本整形外科学会災害外科学会, 2010.10.8-9. 大阪

49.

中村憲太, 山田宏, 吉田宗人, 籠谷良平, 木浦賀文: 腰下肢痛を主訴とし診断に難渋した仙骨 sufficient fracture の一例. 第 78 回和歌山医学会総会010.7.11. 和歌山

50.

辻本修平, 谷口泰徳, 岩田勝栄, 北野岳史, 中谷匡登, 吉藤薫: 大腿骨骨折術後の皮膚壊死に対して上外側膝動脈皮弁による再建を行った 1 例. 第 115 回中部日本整形外科学会災害外科学会, 2010.10.9. 大阪市

51.

辻本修平, 谷口泰徳, 岩田勝栄, 北野岳史, 中谷匡登, 吉藤薫: 大腿骨骨折術後の皮膚壊死に対して上外側膝動脈皮弁による再建を行った 1 例. 第 78 回和歌山医学会総会2010.7.11. 和歌山

52.

山中学, 宮崎展行, 坂田亮介, 南晋司, 綿貫匡則, 中谷匡登, 三宅悠介, 神埜聖治, 吉田宗人: hypermobile lateral meniscus に対して Fast-fix® を用いた 1 例. 第 78 回和歌山医学会総会, 2010.7.11. 和歌山

53.

久保井勇樹, 山田宏, 岩崎博, 木岡雅彦, 西秀人, 阿部唯一, 吉田宗人: 術中モニタリングが有効であった脊椎手術の 1 例. 第 78 回和歌山医学会総会2010.7.11. 和歌山

54.

久保井勇樹, 中川幸洋, 南晋司, 山田宏, 吉田宗人, 北裏清剛: 硬膜外に生じた反応性肉芽腫による腰部脊柱管狭窄症例. 第 115 回中部日本整形外科学会災害外科学会, 2010.10.9. 大阪市

d) その他 (研究会等)

1. 吉田宗人, 山田宏, 橋爪洋, 南出晃人, 中川幸洋, 河合将紀, 岩崎博, 筒井俊二, 峠 康: 脊椎内視鏡手術, VATS, PELD, 手関節鏡実習. 和歌山県立医科大学整形外科学教室. 脊椎内視鏡 cadaver seminar, 2010. 1. 31, 和歌山
2. 吉田宗人, 中川幸洋, 河合将紀, 豊根知明, 蜂谷裕道, 佐藤公治: 腰椎模型を用いた脊椎広範囲内視鏡手術実習和歌山の浦低侵襲脊椎外科セミナー. 2010.6. 和歌山市
3. 吉田宗人: 日本整形外科学会 第 12 回脊椎内視鏡下手術・技術講習会 講義「総論」2010.11
4. 吉田宗人: ラジオ「痛いの・痛いの・飛んでけ!」和歌山放送 月 1 回放送
5. 吉田宗人, 中村博亮, 長谷川 徹, 三浦恭志: 脊椎内視鏡手術の現状と展望. Arthritis- 運動器疾患と炎症— 8 巻 3 号, pp185-197, 2010
6. 吉田宗人: 大人の健康—脊椎内視鏡手術の第一人者—. 名医・名院、ここにあり. 日刊グッドライフ

7. 吉田宗人, 八木省次, 伊藤二夫, 出沢明: 足腰のしびれ・痛みは脊椎ドックで原因究明を—せぼね医学の最前線—. 読賣新聞 2010.5.30
8. 吉田宗人: 病院の実力—腰・首の手術 低侵襲治療が大半—. 読賣新聞 2010.12.5
9. 岡安勤: 脳性麻痺の変形拘縮に対する保存療法 フェノールブロックとポトックス注射 脳性麻痺ボツリヌス療法研究会・和歌山勉強会, 2010.2.27 .和歌山
10. 木下裕文: 骨粗鬆症の早期治療をめざして. 第3回和歌山臨床整形外科医会研修会 2010.11. 和歌山市
11. 木下裕文: 骨粗鬆症とは. 骨ケアフェス2010 in 和歌山 (市民公開講座) 2010.12. 和歌山市
12. 橋爪洋, 吉田宗人, 吉村典子: 高齢者運動器疾患(腰痛・膝痛 転倒)予防のためのビデオ体操プログラムの開発—介入 3ヶ月の成績について 厚生労働科学研究(長寿科学総合研究事業)膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡研究(H-20 -長寿 -一般 - 009)第二回班会議 2010.11, 東京
13. 石口明: 高齢者の脊椎変形—とくに脊柱後彎症、腰椎変形側彎症について 第26回和歌山脊椎脊髄外科フォーラム 2010.7.9, 和歌山
14. 南出晃人: 脊椎内視鏡手術の適応と有用性 京大脊椎外科若手の会 .2010. 5. 8. 大阪市
15. 南出晃人: 高齢者のロコモティブシンドローム - 腰痛を中心としたコックス LBP 追道講演会 .2010. 5.20. 御坊市
16. 河合将紀: 脊椎内視鏡手術の概念と基本操作 カダバセミナー 2009, 2010. 1. 31, 和歌山
17. 河合将紀: 内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術(MED)の手技とポイント, 第1回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2010.6.11-12, 和歌山
18. 河合将紀: 脊椎内視鏡手術の概念と基本操作 第1回和歌の浦低侵襲脊椎外科セミナー 2010.6.11-12, 和歌山
19. 中根康博: Depuy Mitek Shoulder Cadaver Workshop. ハワイ大学. 2010.7.13-17. Hawaii
20. 宮崎展行: 大腿骨頸部前捻角とステム前捻角との関連 第18回 Hip Forum.2010.7.24. 鳥羽市
21. 大宝英矢: 膝の痛みについて. 那賀地区市民公開講座. 8. 紀の川市
22. 金川建彦: 骨粗鬆症の治療. 那賀薬剤師会研修会. 6. 紀の川市
23. 谷口亘, 中塚映政, 宮崎展行, 阿部唯一, 峰巨, 藤田亜美, 熊本栄一, 吉田宗人: In vivo パッチクランプ法を用いた脊髄内ドパミン作動性神経系の機能解析. 第10回脊髄機能診断学研究会 2010.2, 東京
24. 谷口亘, 中塚映政, 瀧口登, 海戸弥恵, 西尾尚子, 吉田宗人: 脊髄内ドパミン作動神経系の下行性疼痛抑制系として作用する—in vivo patch-clamp 法を用いた解析—. 第3回日本運動器疼痛研究会 2010. 11, 名古屋
25. 神埜聖治, 佐々木俊二, 安藤宗治, 松本朋子, 峠康, 山崎悟, 麻殖生和博, 高見正成, 太田泰宏, 玉置哲也: 遺残靭帯を温存した膝前

靱帯再建の5例. 第7回和歌山骨関節靱帯フォーラム2010.8. 和歌山

26.

曾根勝真弓, 谷口泰徳, 北野岳史, 山中学, 吉田宗人 混合性結合組織病に合併したキーンバック病. 第7回和歌山骨関節靱帯フォーラム, 2010.8.28. 和歌山市

研究費交付状況

1. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 分担研究者 吉田宗人: 脊柱靱帯骨化症に関する調査研究
2. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業 分担研究者 吉田宗人: 膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡研究
3. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業 分担研究者 吉田宗人: 腰痛の診断、治療法に関する研究「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」
4. 平成 22年度科学研究費補助金(基盤研究) 代表研究者 吉田宗人: 脊髄損傷細胞死における GluR2 の関与について
5. 平成 22年度科学研究費補助金(基盤研究) 代表研究者 山田宏: 腰部脊柱管狭窄症の発症要因の解明: 車両搭載型 MRI を用いた地域住民コホート研究
6. 平成 22年度科学研究費補助金(若手研究) 代表研究者 谷口亘 In vivo パッチクランプ法を用いたドーパミン下行性疼痛抑制系の解明
7. 平成 22年度特定研究助成プロジェクト 吉田宗人: 疼痛に対する生体反応
8. 平成 22年度特定研究助成プロジェクト 山田 宏: 疼痛に対する生体反応
9. 平成 22年受託研究(和医大総第2014号) 吉田宗人: 高齢者運動器疾患予防対策事業に係る運動プログラム開発